

2026年度  
事業計画書

自：2026年4月 1日

至：2027年3月31日

公益財団法人 三康文化研究所

# 目 次

1. 公 開 講 座
2. 研 究 座 談 会
3. 研 究 会
4. 研究冊子の刊行等
5. 学 会 参 加
6. 2027年度研究部門事業廃止に  
ともなう記念事業の検討
7. 附 属 図 書 館
8. 収益事業(建物賃貸業)

## 1. 公開講座(オンライン、および会場開催)

### ① 公開講座 年2回

在室研究員が講師となり、研究に関心のある方を対象に開催する。

※テレビ会議システム(Zoom)と会場(閲覧室)にて開催する。

## 2. 研究座談会

### ① 研究座談会 年2回

在室研究員が中心となり、これを開催する。

## 3. 研究会(オンライン、および会場開催)

(会名下の( )内は、在室研究員による担当者を示す)

### ① 原典研究会(西村実則・古宇田亮修) 年3回

梵本・パーリ本の仏典を中心に対比較合輪読。

梵本『ニダーナサンユクタ』、『雑阿含経』の研究。

### ② 日本仏教史研究会(宇高良哲) 年10回

日本仏教史に関わる基礎的文献の調査と整理と検討。

川越蓮馨寺日鑑の解読作業。

### ③ 浄土教典籍研究会(林田康順・柴田泰山・石川琢道) 年6回

了誉聖問『顕浄土伝戒論』の研究・輪読。

## 4. 研究冊子の刊行等

### ① 年報の刊行

第57号 A5判・約150頁

300部・年1回

### ② 所報の刊行

第61号 A5判・約50頁

200部・年1回

## 5. 学会参加 1学会あたり年1回参加(オンラインでの参加も含む)

関係大学・団体の主催する学会に在室研究員参加

## 6. 2027年度研究部門事業廃止にともなう記念事業の検討

### ① 『年報』・『所報』バックナンバーのデジタル画像作成とインターネット公開

2027年度研究部門事業廃止にともない、これまでの研究者の研究成果を後世に残し、利活用につなげるため、刊行分と刊行予定分の『年報』と『所報』(論文掲載箇所のみ)のデジタル画像を作成しインターネット公開を順次実施していく。

## 7. 附属図書館

### ① 管理

蔵書を適切に保管し、利用者に提供するために書庫および資料管理を行う。

#### ○書庫環境管理

年間を通した温湿度の測定と空調管理

年2回の書庫内清掃の実施

#### ○カビ・虫害対策

委託業者によるIPM(Integrated Pest Management 総合的病害虫管理)の実施

(IPM実施後、2ヶ月後に点検し、状況に応じて対応する)

資料のデータ入力時における資料清掃の実施

○劣化資料保存対策

仮移転の方向性をふまえた酸性紙の酸化による劣化防止対策の実施(委託業者による脱酸処理)(2025年度は250冊実施、2026年度は1,000冊実施予定)

資料の修復・修理(委託業者による破損資料の修復・修理)

職員による資料の補修並びに保護処置(資料のデータ入力時および閲覧出納時)

② 蔵書に必要な資料の受入と公開

蔵書に必要な資料(旧大橋図書館の蔵書に関連する資料や、欠本資料等)を選書し、購入するとともに、他機関(図書館、大学、研究所等)刊行物と三康文化研究所刊行物との寄贈交換等により資料を集める。また、受入資料はデータ入力後、速やかにインターネットで検索できるようにする。

③ 蔵書資料のデータおよびデジタル画像データ作成とインターネット公開

当館では旧大橋図書館の蔵書を中心に、当法人設立以降に収集した資料や各種文庫等の資料を所蔵している。これらの資料についてデータを作成し、インターネット公開し、検索できるようにしている。現在インターネットで検索できる資料は全体の56%であるが、これらのデータは、2023年3月から「国立国会図書館サーチ」(「⑥他機関との連携」参照)にも提供し、当該システムで検索が可能になり、新たな利用者が創造されるようになった。また、検索手段がない分野の自然科学分野のデータ、「書名五十音リスト」の伝記分野、歴史分野のデータ、三康図書館設立(1964年)以降の蔵書、竹田宮家文庫の未入力分データを作成し、当館の蔵書検索(OPAC)、および「国立国会図書館サーチ」で検索出来るようにするために今年度もデータ作成を継続して実施する。

データ作成予定分野、データ公開状況は次の通りである。

(イ) データ作成予定分野

○現在検索手段がない分野

- ・旧大橋図書館の蔵書  
自然科学、工学
- ・湯山文庫の外国語資料の一部

○冊子体目録で資料を探す分野

- ・旧大橋図書館の蔵書  
欧文書、漢籍
- ・三康図書館設立(1964年)以降の蔵書  
内田文庫、増谷文庫

○書名五十音リストで資料を探す分野

- ・旧大橋図書館蔵書  
歴史、伝記、語学、教育

○カード目録で資料を探す分野

- ・三康図書館設立(1964年)以降の蔵書  
2000年度以前の受入図書
- ・竹田宮家文庫

(ロ) 現在ホームページで蔵書検索が可能な分野

- OPACによる蔵書検索

- ・旧大橋図書館蔵書
  - 総記、哲学・宗教、地理・地誌、政治、法律、経済、財政、統計、社会学、風俗習慣・民俗学、国防・軍事、産業、芸術、文学、児童書、工学の一部、憲秩素本、国書
- ・三康図書館設立(1964年)以降の蔵書
  - 2000年度以降受入図書、雑誌、同人誌、湯山文庫雑誌、湯山文庫日本語・外国語図書の一部、椎尾文庫
- 書名五十音リストによる蔵書検索
  - ・旧大橋図書館蔵書
    - 歴史、伝記、語学、教育

(ハ)今年度データ作成作業計画

- 旧大橋図書館資料のデータ入力、および蔵書検索(OPAC)へのデータ投入と公開。自然科学(2027年度終了予定)。
- 2021年11月1日に寄贈された椎尾弁匡旧蔵資料の整理と基礎調査、データ入力および目録作成(基礎調査終了後に実施)
- 2025年5月に寄贈された本間家旧蔵資料の整理、データ入力および目録作成
- 委託事業者による三康図書館設立(1964年)以降の蔵書、竹田宮家文庫の未入力分データ入力

(ニ)雑誌目次情報の提供および公開

- 皓星社へ雑誌目次情報を提供し、皓星社が雑誌目次データを作成し2024年12月からざっさくプラス雑誌記事索引データベースで公開している。今年度も、雑誌目次情報を継続して提供する。また、当該雑誌目次データを当館に提供いただき、当館ホームページでも閲覧できるように公開を進める。

(ホ)蔵書資料のデジタル画像データ作成および公開

- 古典籍(江戸時代の版本・写本)および明治時代以降の<sup>しよかん</sup>書翰類等のデジタル画像データを作成し、当館ホームページで閲覧できるように公開を進める。

④利用者へのサービス

(イ)インターネットにおける情報発信、蔵書検索(OPAC)の充実

- ホームページ、Facebook(フェイスブック)、X(エックス)の運用の充実
- VR(バーチャルリアリティ)を利用した書庫・蔵書紹介
- マスコミ等を利用した情報発信
- 蔵書検索システムのリニューアル

(ロ)その他

- 利用者への書庫案内
  - ※来館者への書庫案内、学生や他機関職員等の団体に向けて開催する書庫見学会の実施。
- ロビーにおける「ミニ展示」「地域資料展示」(展示ケース使用)、閲覧室における「蔵書紹介」(ディスプレイラック使用)、「特集展示コーナー」(西側書架使用)による所蔵資料の紹介
- 閲覧室における「研究員オススメコーナー」(在室研究員による所蔵資料の紹介)
- 「レファレンス協同データベース」(レファレンス事例データベース)(国立国会図書館運営)に

おけるレファレンス事例、および資料の調べ方マニュアルの作成と公開

- 外部イベント(図書館総合展など)への参加、および外部機関における講演などの広報
- 自動翻訳機使用による、外国語話者への対応
- 三康図書館開館60周年記念オリジナルグッズの作成

#### ⑤講演会の開催

三康図書館開館60周年記念講演会を、テレビ会議室システム(Zoom)およびYouTubeを使用して広く参加者を募るとともに、会場参加も可能なハイブリッド形式にて開催する。

#### ⑥くずし字講座の開催に向けた計画

くずし字で書かれ読むことが難しい資料を多く所蔵していることから、くずし字講座の企画開催に向けた講師候補者の選定や運営について準備をすすめる。

#### ⑦他機関との連携

- 「国書データベース」(国文学研究資料館運営)への当館所蔵デジタル画像データ(古典籍資料(江戸時代の版本・写本)、書翰類)提供
- 国立国会図書館サーチ(国立国会図書館運営)への所蔵資料データ提供
- 港区内の専門図書館および港区立図書館を中心とした全国各地の他機関との連携

#### ⑧研究者への所蔵資料調査依頼

所蔵資料の内、所蔵データが未公開の分野、また未調査の分野(雑誌・凶案・語学書・経済書、経営学・政治学・教科書・入試問題集・学習参考書・旅行書・紀行文・芸術・スポーツ等)の所蔵資料について、調査の依頼が可能な分野から、専門とする研究者に順次調査を依頼する。

#### ⑨旧大橋図書館業務資料研究会の開催

整理中の旧大橋図書館業務資料の調査研究を行う研究会を開催する。

#### ⑩研修等への参加

専門図書館協議会や日本図書館協会が主催する図書館職員向け研修、文学館や博物館が主催する研修等に参加し資料の利活用に結びつく内容の研修を受講し、さらに他機関への視察を行い今後の図書館運営に活かす。

### 8. 収益事業(建物賃貸業)

2階の一部を賃貸する

- ①宗教法人増上寺へ貸事務所として
- ②公益財団法人全日本仏教会へ会議室として

2026年度の事業計画は以上の通りです。

2026年2月26日

公益財団法人 三 康 文 化 研 究 所

理 事 長 小 澤 憲 珠